

# 令和8年度定期予防接種の接種年齢および接種間隔(こどもの予防接種)

接種対象年齢および接種間隔は必ず守ってください。法定外となり有料となります。

医療機関に予約の上接種ください。医療機関には母子健康手帳を持参ください。対象者は、本町に住民票がある人です。

種類	接種費用公費負担対象年齢	標準的な接種期間	回数	接種間隔	注意点
B型肝炎	1歳の誕生日の前日	生後2か月～9か月に至るまでの期間	初回(2回) 追加(1回)	27日以上 1回目の注射から139日以上	<b>対象者から除外される児</b> HBs抗原陽性の母親からの出生で、B型肝炎ウイルスに感染したおそれのある児であって、抗HBs人免疫グロブリンの投与に併せて、組み換え沈降B型肝炎ワクチンの投与を受けたことのある児は、定期接種の対象者から除きます。
BCG(結核)	1歳の誕生日の前日	生後5か月～8か月に達するまでの期間	1回		
【5種混合】 ジフテリア 百日せき 破傷風 不活化ポリオ ヒブ	生後2か月～7歳6か月を迎える前日	生後2か月～7か月に至るまでの期間	初回(3回)	20日以上(標準的には20日～56日)	
		初回接種(3回)終了後6か月～18か月までの間隔をおく	追回(1回)	初回接種(3回)終了後、6か月以上(標準的には6か月～18か月)	
【3種混合】 ジフテリア 百日せき 破傷風	生後2か月～7歳6か月を迎える前日	生後2か月～12か月に達するまでの期間	初回(3回)	20日以上(標準的には20日～56日)	
		初回接種(3回)終了後12か月～18か月までの間隔をおく	追回(1回)	初回接種(3回)終了後、6か月以上(標準的には12か月～18か月)	
【2種混合】 ジフテリア 破傷風	11歳～13歳の誕生日の前日	11歳～12歳に達するまでの期間	1回		
麻しん 風しん (MR)	第1期	1歳～2歳の誕生日の前日	1回		2歳以上は有料(任意接種)
	第2期	令和2年4月2日～令和3年4月1日生(年長児)	1回		令和9年3月31日まで無料(期間を超えると任意接種となり有料)
水痘(水ぼうそう)	1歳～3歳の誕生日の前日	1回目の接種は1歳～1歳3か月に達するまで 2回目の接種は1回目の接種終了後6か月～12か月までの間隔をおく	2回	3か月以上(標準的には6か月～12か月)	3歳以上は有料(任意接種)
日本脳炎	第1期初回	生後6か月～7歳6か月を迎える前日	2回	6日以上(標準的には6日～28日)	生後6か月～3歳未満の間に接種する場合の接種量は、3歳以上で接種する場合の半量の0.25mlとなります。
	第1期追加	生後6か月～7歳6か月を迎える前日	1回	第1期初回接種終了後、6か月以上(標準的にはおおむね1年を経過した時期)	
	第2期	9歳～13歳の誕生日の前日	1回		
	備考	平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれで日本脳炎予防接種が完了していない場合は20歳未満(20歳の誕生日の前日)までの間、1期・2期の不足分(合計4回分)を定期の予防接種として、無料で接種できます。 ※母子健康手帳で接種回数を確認してください。接種履歴が不明の場合は問合せください。			

種類	接種費用公費負担対象年齢	標準的な接種期間	回数	接種間隔	注意点
ヒブワクチン	生後2か月～5歳の誕生日の前日	初回接種開始は生後2か月～7か月に至るまで 追加接種は初回接種終了後7か月～13か月までの間隔をおく	初回接種開始が生後2か月～7か月未満 初回：3回 追加：1回	初回接種【3回】 生後12か月に至るまでの間に27日[医師が必要と認めるときは20日]以上(標準的には27日[医師が必要と認めるときは20日]～56日) 追加接種【1回】 初回接種終了後7か月以上(標準的には7か月～13か月)	初回接種のうち2回目および3回目の注射は、生後12か月に至るまでにおこなうこととし、それを超えた場合はおこないません。 この場合、追加接種は実施可能であるが、初回接種の最後の注射終了後、27日[医師が必要と認めるときは20日]以上の間隔をおいて1回おこないます。
			初回接種開始が生後7か月～12か月未満 初回：2回 追加：1回	初回接種【2回】 生後12か月に至るまでの間に27日[医師が必要と認めるときは20日]以上(標準的には27日[医師が必要と認めるときは20日]～56日) 追加接種【1回】 初回接種終了後7か月以上(標準的には7か月～13か月)	初回接種のうち2回目の注射は、生後12か月に至るまでにおこなうこととし、それを超えた場合はおこないません。 この場合、追加接種は実施可能であるが、初回接種の最後の注射終了後、27日[医師が必要と認めるときは20日]以上の間隔をおいて1回おこないます。
			初回接種開始が1歳～5歳未満 1回		
小児用肺炎球菌ワクチン	生後2か月～5歳の誕生日の前日	初回接種開始は生後2か月～7か月に至るまで 追加接種は1歳～1歳3か月に至るまで	初回接種開始が生後2か月～7か月未満 初回：3回 追加：1回	初回接種【3回】 生後24か月に至るまでの間に27日以上 追加接種【1回】 初回接種終了後、60日以上の間隔をおいて、生後12か月に至った日以降(標準的には生後12か月～15か月に至るまでの間で、初回接種終了後60日以上の間隔をおいた後で生後12か月に至った日以降)	初回接種のうち2回目および3回目の注射は、生後24か月に至るまでにおこなうこととし、それを超えた場合はおこないません(追加接種は可能)。 また、初回接種のうち2回目の注射は生後12か月に至るまでにおこなうこととし、それを超えた場合は、初回接種のうち3回目の注射はおこないません(追加接種は可能)。
			初回接種開始が生後7か月～12か月未満 初回：2回 追加：1回	初回接種【2回】 生後24か月に至るまでの間に27日以上 追加接種【1回】 初回接種終了後、60日以上の間隔をおいて、生後12か月に至った日以降	初回接種のうち2回目の注射は、生後24か月に至るまでにおこなうこととし、それを超えた場合はおこないません(追加接種は可能)。
			初回接種開始が1歳～2歳未満 2回	60日以上	
			初回接種開始が2歳～5歳未満 1回		
ロタウイルスワクチン	《ロタリックスワクチン》 出生6週～24週  《ロタテックワクチン》 出生6週～32週	初回接種開始は生後2か月に至った日から14週6日後まで(※注)	2回	27日以上	<b>対象者から除外される児</b> ・腸重積症の既往歴があることが明らかな児 ・先天性消化管障がいをもつ児 ・重症複合免疫不全症の所見が認められる児 ・飲むワクチン(経口接種)です。少し空腹感があるほうがワクチン接種を受けやすいです。 接種後吐き出した場合でも再度の接種は必要ありません。ワクチン接種後は便の中にウイルスが排出されることがまれにあります。接種後7～10日間はオムツ交換後しっかりと手洗いをしてください。 接種後1～2週間は腸重積症の症状に注意する必要があります。「突然激しく泣く」「機嫌が良かったり悪かったりを繰り返す」「嘔吐する」「血便がでる」「ぐったりして顔色が悪い」などの症状が見られたら医師に相談してください。 (※注) 15週0日を超えての初回接種は安全性が確立していないためお勧めしていません。
			3回	27日以上	
ヒトパピローマウイルス(子宮頸がんワクチンHPV)	小学6年生～高校1年生相当年齢の女子(平成22年4月2日～平成27年4月1日生まれ)	13歳となる日の属する年度の初日から当該年度の末日までの間	3回  2回	《シルガード9ワクチン》 2か月の間隔をおいて2回接種後、1回目の接種から6か月の間隔をおいて1回接種。この間隔で接種できなかった場合は、1か月以上の間隔をおいて2回接種後、2回目の接種から3か月以上の間隔をおいて1回接種。  シルガード9ワクチンの初回接種を15歳の誕生日前日までに接種した場合に限り、初回接種から5か月以上の間隔をおいて2回接種。	令和8年4月1日より「シルガード9ワクチン」のみが定期接種対象ワクチンになりました。原則として同じ種類のワクチンを接種することをお勧めしますが、医師と相談のうえ、途中からシルガード9に変更し、残りの接種を完了することも可能です。